様式第二号の十三（第八条の十七の二関係）

（第１面）

特別管理産業廃棄物処理計画書

２０２４年6月２１日

岡崎市長　　殿

提出者
住　所 愛知県岡崎市昭和町字河原1番地
氏　名東レ・モノフィラメント株式会社
代表取締役社長　赤澤　潔
電話番号　０５６４－３１－６２３５

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の２第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	東レ・モノフィラメント株式会社
事業場の所在地	愛知県岡崎市昭和町字河原１番地
計画期間	令和　6年　4月1日 ～ 令和　7年　3月３１日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	１１　繊維工業
②事業の規模	５，２２８百万円
③従業員数	２３８名
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	添付資料－１「産業廃棄物発生工程フロー」の通り

（日本工業規格　A列４番）

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

添付資料－２「廃棄物管理組織」の通り

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状

【前年度（令和５年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	腐食性廃アルカリ	特定有害汚泥（ﾄﾘｸﾚﾝ）	特定有害廃油（ﾄﾘｸﾚﾝ）	腐食性廃酸	引火性廃油
排　　出	１３６．６８ｔ	７．１０ｔ	０．１４ｔ	０．１１ｔ	０．０３ｔ

（これまでに実施した取組）

・腐食性廃アルカリ：製品の処理を行う際に使用する苛性ソーダについて交換インターバルの見直しを行なった。苛性ソーダの交換頻度を更に少なくするため、腐食されにくい槽への更新を実施。

・特定有害汚泥（ﾄﾘｸﾚﾝ）：地下水のトリクレン浄化・流出防止対策を実施しているが、原水槽清掃時の汚泥を年１回廃棄。

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	腐食性廃アルカリ	特定有害汚泥（ﾄﾘｸﾚﾝ）
排　出　量	３００ｔ	１０ｔ

（今後実施する予定の取組）

・腐食性廃アルカリ：苛性ソーダの交換インターバルの更なる見直し。

・特定有害汚泥（ﾄﾘｸﾚﾝ）：特になし

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

・腐食性廃アルカリ：専用の配管で保管容器までのラインを設け、他の排水との区別を行っている。

②計画

（今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

・腐食性廃アルカリ：特になし

・特定有害汚泥（ﾄﾘｸﾚﾝ）：原水槽の上水はトリクレン回収装置へ循環させ廃棄量の減量を図る。

（第３面）

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（平成　　年度）実績】</td></tr>
<tr><td>特別管理産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った
特別管理産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>特別管理産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う
特別管理産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">①現状</td><td colspan="3">【前年度（平成　　年度）実績】</td></tr>
<tr><td>特別管理産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った
特別管理産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した
特別管理産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>特別管理産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う
特別管理産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する
特別管理産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
</table>

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項				
①現状		【前年度（平成　　年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類			
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量		t	t
		（これまでに実施した取組）		
②計画		【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類			
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量		t	t
		（今後実施する予定の取組）		

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項						
① 現状		【前年度（令和５年度）実績】				
	特別管理産業廃棄物の種類	腐食性廃アルカリ	特定有害汚泥（ﾄﾘｸﾚﾝ）	特定有害廃油（ﾄﾘｸﾚﾝ）	腐食性廃酸	引火性廃油
	全処理委託量	１３６．６８ｔ	７．１０ｔ	０．１４ｔ	０．１１ｔ	０．０３ｔ
	優良認定処理業者への処理委託量	ｔ	７．１０ｔ	０．１４ｔ	０．１１ｔ	０．０３ｔ
	再生利用業者への処理委託量	１３６．６８ｔ	ｔ	ｔ	ｔ	ｔ
	認定熱回収業者への処理委託量	ｔ	７．１０ｔ	０．１４ｔ	０．１１ｔ	０．０３ｔ
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	ｔ	ｔ	ｔ		
		（これまでに実施した取組） ・腐食性廃アルカリ：処理委託を単純廃棄業者から再生利用業者へ変更した。 ・特定有害汚泥（ﾄﾘｸﾚﾝ）：優良認定処理業者へ処理を委託。				

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">特別管理産業廃棄物の種類</td><td>腐食性廃アルカリ</td><td>特定有害汚泥（ﾄﾘｸﾚﾝ）</td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>３００ｔ</td><td>１０ｔ</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への
処 理 委 託 量</td><td>ｔ</td><td>１０ｔ</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処 理 委 託 量</td><td>３００ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への
処 理 委 託 量</td><td>ｔ</td><td>１０ｔ</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処 理 委 託 量</td><td>ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="3">電子情報処理組織の使用に関する事項</td><td colspan="3">【前年度（令和 ５年度）実績】</td></tr>
<tr><td colspan="2">特別管理産業廃棄物
排　　出　　量
（ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。）</td><td>１４４ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組等）</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

1　前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

2　当該年度の６月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。

6　「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第６条の14第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

7　「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第２条の４第５号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トン以上の者にあっては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第８条の31の４に該当するときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。

8　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

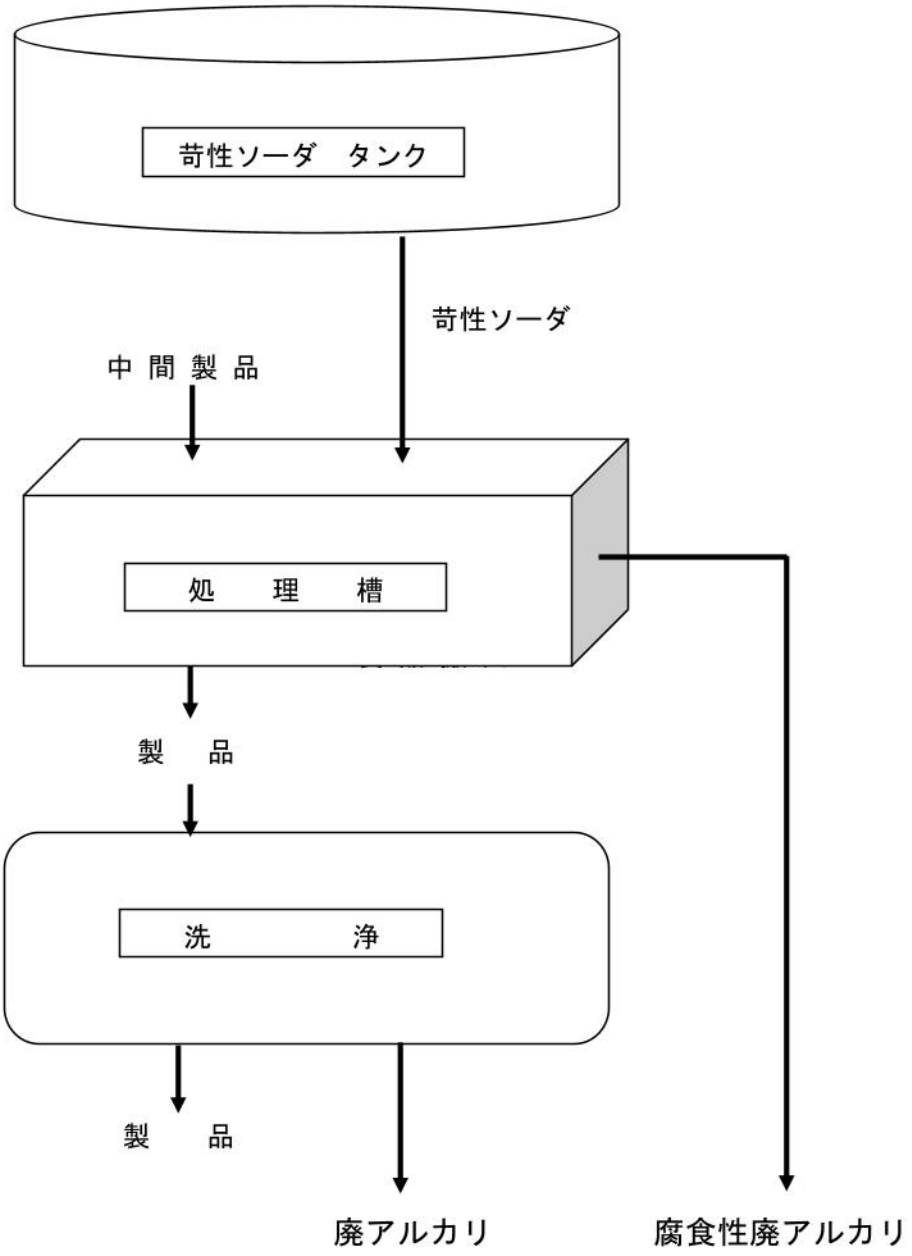
9　※欄は記入しないこと。

添付資料－１

産業廃棄物発生工程フロー

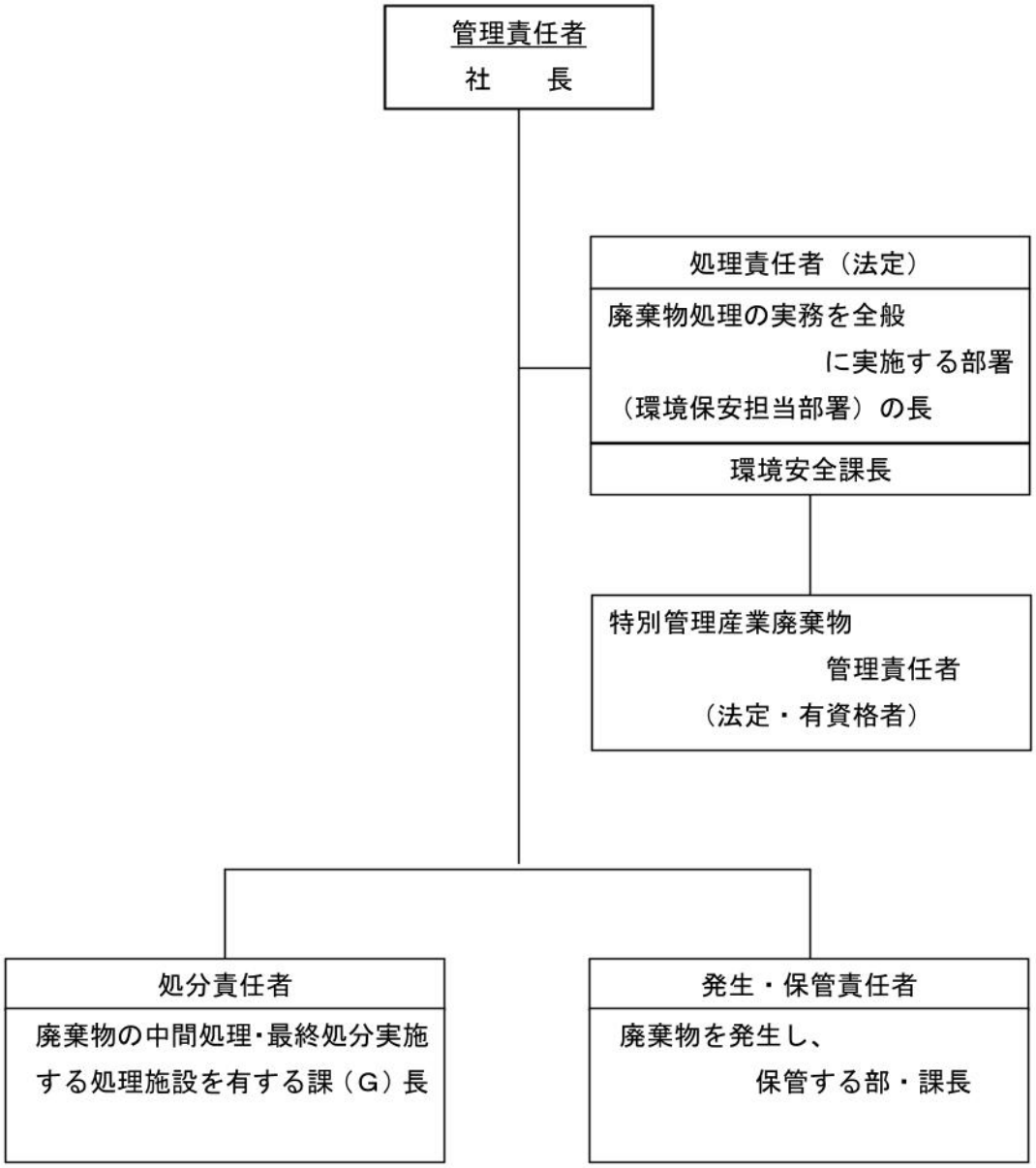
特別管理産業廃棄物

腐食性廃アルカリ



添付資料－２

廃棄物管理組織



様式第二号の十三（第八条の十七の二関係）

（第１面）

特別管理産業廃棄物処理計画書

2024年　　6月　　25日

都道府県知事
（市長）　　殿

提出者
住　所　愛知県長久手市岩作雁又1番地1
氏　名　学校法人愛知医科大学
理事長　祖父江 元
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　　0561-62-3311

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の２第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	愛知医科大学メディカルセンター
事業場の所在地	愛知県岡崎市仁木町字川越17番地33
計画期間	令和6年度（令和6年4月～令和7年3月）

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	医療業
② 事業の規模	病床数270床
③ 従業員数	322人
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	処分業者にて収集・運搬し焼却処理を実施。 ㈱大相（収集・運搬）　→　三重中央開発㈱（焼却）

（日本工業規格　A列４番）

（第２面）

<table>
<tr><td colspan="4">特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項</td></tr>
<tr><td colspan="4">（管理体制図）

愛知医大MC（排出）　→　㈱大相（収集・運搬）　→　三重中央開発㈱（処分）</td></tr>
<tr><td colspan="4">特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①　現状</td><td colspan="3">【前年度（令和　5　年度）実績】</td></tr>
<tr><td>特別管理産業廃棄物の種類</td><td>感染性廃棄物</td><td></td></tr>
<tr><td>排　　出　　量</td><td>88 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>特別管理産業廃棄物の種類</td><td>感染性廃棄物</td><td></td></tr>
<tr><td>排　　出　　量</td><td>80 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">特別管理産業廃棄物の分別に関する事項</td></tr>
<tr><td>①現状</td><td colspan="3">（分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）</td></tr>
<tr><td>②計画</td><td colspan="3">（今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）</td></tr>
</table>

（第３面）

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5"></td><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（平成　　年度）実績】</td></tr>
<tr><td>特別管理産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った
特別管理産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>特別管理産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う
特別管理産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5"></td><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（平成　　年度）実績】</td></tr>
<tr><td>特別管理産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った
特別管理産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した
特別管理産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>特別管理産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う
特別管理産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する
特別管理産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5"></td><td rowspan="5">①現状</td><td colspan="3">【前年度（平成　　年度）実績】</td></tr>
<tr><td colspan="2">特別管理産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td rowspan="5"></td><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">特別管理産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td colspan="4">特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">①　現状</td><td colspan="3">【前年度（令和　5　年度）実績】</td></tr>
<tr><td colspan="2">特別管理産業廃棄物の種類</td><td>感染性廃棄物</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全処理委託量</td><td>88.308 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>88.308 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">特別管理産業廃棄物の種類</td><td>感染性廃棄物</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>80 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への
処 理 委 託 量</td><td>80 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">電子情報処理組織の使用に関する事項</td><td colspan="3">【前年度（平成　5　年度）実績】</td></tr>
<tr><td colspan="2">特別管理産業廃棄物
排　　出　　量
（ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。）</td><td>88.308 t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組等）

電子マニフェストに加入し，令和７年度特別管理産業廃棄物については，電子マニフェストを利用する予定。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="2"></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

⑴①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

⑵②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

⑶④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。

６　「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第６条の14第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

７　「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第２条の４第５号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トン以上の者にあっては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第８条の31の４に該当するときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。

８　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

９　※欄は記入しないこと。

様式第二号の十三（第八条の十七の二関係）

（第１面）

特別管理産業廃棄物処理計画書

2024年　6月　6日

岡崎市長　　殿

提出者
住　所　　愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪1番地98
氏　名　　学校法人　藤田学園
理事長　星長清隆
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　0562-93-2800

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の２第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	藤田医科大学岡崎医療センター
事業場の所在地	愛知県岡崎市針崎町字五反田1番地
計画期間	2024年4月1日～2025年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	83：医療業
②事業の規模	病床数　400床
③従業員数	923名
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	医療行為後に感染性廃棄物発生→鋭利なもの→プラスチック容器に回収 鋭利でないもの→専用ダンボールに回収 →院内すべての感染性廃棄物を、感染性廃棄物庫に保管→委託業者回収→委託業者焼却（中間処理）→管理型埋立処分場で埋立（最終処分）

（日本工業規格　A列４番）

（第２面）

<table>
<tr><td colspan="4">特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項</td></tr>
<tr><td colspan="4">（管理体制図）

廃棄物総括責任者：医療廃棄物処理委員会委員長（特別管理産業廃棄物管理責任者）
│
医療廃棄物処理委員会（医療廃棄物の適正な処理等に関する事項を審議）
└──実施責任者（事務部総務課長）──実施担当者（事務部総務課）</td></tr>
<tr><td colspan="4">特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①　現状</td><td colspan="3">【前年度（2023年度）実績】</td></tr>
<tr><td>特別管理産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>排　　出　　量</td><td>264.21 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
病棟ラウンドにて分別の調査。都度注意をし、院内周知を図った。ごみ箱に貼る分別表示を見直し、色分けをするなど視覚的に認識しやすいものに変更、周知をした。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>特別管理産業廃棄物の種類</td><td>感染性廃棄物</td><td></td></tr>
<tr><td>排　　出　　量</td><td>251 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
分別の周知徹底をし、定期的に病棟ラウンドにて調査し都度注意。病棟ラウンドの結果をごみ分別表示にも活かし、さらなる分別の徹底を図る。</td></tr>
<tr><td colspan="4">特別管理産業廃棄物の分別に関する事項</td></tr>
<tr><td>①現状</td><td colspan="3">（分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）</td></tr>
<tr><td>②計画</td><td colspan="3">（今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）</td></tr>
</table>

（第３面）

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">① 現状</td><td colspan="3">【前年度（2023年度）実績】</td></tr>
<tr><td>特別管理産業廃棄物の種類</td><td>感染性廃棄物</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った
特別管理産業廃棄物の量</td><td>0 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>特別管理産業廃棄物の種類</td><td>感染性廃棄物</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う
特別管理産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">① 現状</td><td colspan="3">【前年度（2023年度）実績】</td></tr>
<tr><td>特別管理産業廃棄物の種類</td><td>感染性廃棄物</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った
特別管理産業廃棄物の量</td><td>0 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した
特別管理産業廃棄物の量</td><td>0 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>特別管理産業廃棄物の種類</td><td>感染性廃棄物</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う
特別管理産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する
特別管理産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">① 現状</td><td colspan="3">【前年度（2023年度）実績】</td></tr>
<tr><td>特別管理産業廃棄物の種類</td><td>感染性廃棄物</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量</td><td>0 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>特別管理産業廃棄物の種類</td><td>感染性廃棄物</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="8">① 現状</td><td colspan="3">【前年度（2023年度）実績】</td></tr>
<tr><td>特別管理産業廃棄物の種類</td><td>感染性廃棄物</td><td></td></tr>
<tr><td>全処理委託量</td><td>264.21 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>264.21 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">特別管理産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>251 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="3">電子情報処理組織の使用に関する事項</td><td colspan="3">【前年度（2023 年度）実績】</td></tr>
<tr><td colspan="2">特別管理産業廃棄物
排　　出　　量
（ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。）</td><td>264.21 t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組等）</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

1　前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

2　当該年度の６月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。

6　「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第６条の14第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

7　「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第２条の４第５号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トン以上の者にあっては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第８条の31の４に該当するときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。

8　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

9　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和　6　年　5　月　24　日

（宛先）岡　崎　市　長

提出者
住　所 愛知県岡崎市上六名町字木ノ座3番地
氏　名 株式会社　中根組
代表取締役社長　中根　晃
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号（０５６４）５１－１５０１

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社　中根組
事業場の所在地	愛知県岡崎市上六名町字木ノ座３番地
計画期間	令和　5　年度（令和　5年　４月～令和　6年　３月）

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	06：総合工事業
②事業の規模	元請完成工事高：１０ 億 ０４７３ 万円
③従業員数	18名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	廃棄物の種類別に分別仕分け （建物解体） がれき類　再生処理業者に委託、破砕後、再生砕石として再資源化 木くず類　再生処理業者に委託、破砕後、再生ﾁｯﾌﾟ等として再資源化 廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類　再生処理業者に委託、圧縮後、再資源化 混合廃棄物類　中間処理業者に委託、選別、破砕、焼却、埋立

（日本工業規格　A列４番）

（第２面）

<table>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項</td></tr>
<tr><td colspan="4">（管理体制図）

統括責任者　　代表取締役社長
↓
廃棄物処理方針の検討　　ISO推進委員
↓
産業廃棄物処理委託契約書の締結　　現場責任者
↓
産業廃棄物管理票（発行・回収・集計）　総務
↓
産業廃棄物管理票の管理　　現場責任者</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の排出の抑制に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①　現状</td><td colspan="3">【前年度（令和　５　年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>建設廃棄物</td><td></td></tr>
<tr><td>排　　出　　量</td><td>３，８１６．０２１ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）

廃棄物の種類分別・仕分け</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>建設廃棄物</td><td></td></tr>
<tr><td>排　　出　　量</td><td>１，５００ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）

廃棄物の種類分別・仕分けの細分化
リサイクル可能な廃棄物を再分別
混合廃棄物の低減</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の分別に関する事項</td></tr>
<tr><td>①現状</td><td colspan="3">（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

機械及び人力手作業にて分別</td></tr>
<tr><td>②計画</td><td colspan="3">（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

人力手作業分別の指導・管理を行う。</td></tr>
</table>

（第３面）

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和　　年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和　　年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

（第４面）

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和　　年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和　５　年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	建設廃棄物	
	全処理委託量	３，８１６．０２１ｔ	ｔ
	優良認定処理業者への処理委託量	１３３．３７８ｔ	ｔ
	再生利用業者への処理委託量	３６８２．６４３ｔ	ｔ
	認定熱回収業者への処理委託量	ｔ	ｔ
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	ｔ	ｔ
	（これまでに実施した取組） 委託基準に従い業者と委託契約を締結する 再生利用業者への処理委託を行い最終処分量の低減を図る		

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>建設廃棄物</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全処理委託量</td><td>１，５００ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>２００ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>１，３００ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）

優良認定処理業者の選定　処理委託の推進</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

⑴①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

⑵②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

⑶④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

別 紙

産業廃棄物の処理の委託に関する事項
（前年度の産業廃棄物発生量及び本年度の目標）

（ 単位:t/年 ）

項　目 産業廃棄物の種類	前年度 実績（R5年度 ）				本年度 目標（ R6年度 ）			
	産業廃棄物発生量	全処理委託量	優良認定処理業者への処理委託量	再生利用業者へ委託量	産業廃棄物発生量	全処理委託量	優良認定処理業者への処理委託量	再生利用業者へ委託量
コンクリートがら	3176.372	3176.372	0.00	3176.372	850.00	850	0.00	850.00
廃プラスチック類	12.815	12.815	0.66	12.155	50.00	50.00	0.00	50.00
繊維くず	0.60	0.60	0.00	0.60	0.00	0.00	0.00	0.00
木くず	176.03	176.03	63.08	112.95	150.00	150.00	0.00	150.00
金属くず	27.115	27.115	0.00	27.115	50.00	50.00	0.00	50.00
ガラス・陶磁器くず	79.12	79.12	0.00	79.12	100.00	100.00	0.00	100.00
がれき類	88.05	88.05	5.51	82.54	100.00	100.00	0.00	100.00
混合物	94.901	94.901	64.00	30.901	100.00	100.00	0.00	100.00
水銀使用製品産業廃棄物	0.40	0.40	0.10	0.30	0.00	0.00	0.00	0.00
石綿含有産業廃棄物	160.618	160.618	0.03	160.590	100.00	100.00	0.00	100.00
合 計	3816.021 t	3816.021 t	133.378 t	3682.643 t	1500 t	1500 t	0 t	1500 t

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和　6　年　5　月　22　日

（宛先）岡　崎　市　長

提出者

住 所　愛知県名古屋市中区金山五丁目　14 番 2 号

氏 名　大有建設株式会社　本店工事部　中野谷　眞己

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　052-881-1001

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名 称	大有建設株式会社　本店　工事部
事業場の所在 地	岡崎市内事業場
計画期　間	令和　6　年度（令和　6　年　４月～令和　7　年　３月）

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

1　事業の種 類	総合工事業
2　事業の規 模	299,710 千円
3　従業員 数	181 名

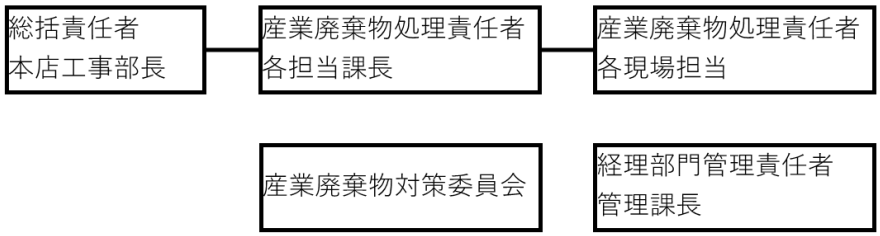
	④産業廃棄物の一連の処理の工程	建設工事 がれき類→再生処分業者に委託して再生砕石として再資源化 汚泥→中間処理業者に委託して脱水後、改良土として再資源化 廃プラスチック類→中間処理業者に委託して再資源化 木くず→中間処理業者に委託して再資源化 紙くず→中間処理業者に委託して再資源化 金属くず→中間処理業者に委託して再資源化 ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず→中間処理業者に委託して再資源化 混合物→中間処理業者に委託して再資源化

（日本工業規格　A列４番）

（第２面）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

1　現状	【前年度（令和　5　年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	
	排出　量	1247.6　t	t
	（これまでに実施した取組） 発注者と調整を行い、削減に取り組む		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	
	排出　量	1500　t	t

		（今後実施する予定の取組） 発注者と調整を行い、削減に取り組む
産業廃棄物の分別に関する事項		
	①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） それぞれに分別している
	②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 今後も分別処理を徹底する

（第３面）

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項				
	1　現状	【前年度（令和　5　年度）実績】		
		産業廃棄物の種類	がれき類	
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	t
		（これまでに実施した取組） がれき類：再生アスファルト材、再生砕石として利用		
	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	がれき類	
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	t
		（今後実施する予定の取組） 現状維持		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項				
	1　現状	【前年度（令和　5　年度）実績】		
		産業廃棄物の種類	がれき類	
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	t
		自ら中間処理により減量した	0 t	t

		産業廃棄物の量		
		（これまでに実施した取組） 特に実施していない		
	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	がれき類	
		自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0 t	t
		自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0 t	t
		（今後実施する予定の取組） 現状維持		

（第４面）

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項				
	1　現状	【前年度（令和　5　年度）実績】		
		産業廃棄物の種類	がれき類	
		自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	0 t	t
		（これまでに実施した取組） 実施していない		
	2　計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	がれき類	
		自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0 t	t
		（今後実施する予定の取組） 実施する予定はない		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項				

	1　現状	【前年度（令和　5　年度）実績】		
		産業廃棄物の種類	がれき類	
		全処理委託 量	1247.6　t	t
		優良認定処理業者への処理委託 量	t	t
		再生利用業者への処理委託 量	1247.6　t	t
		認定熱回収業者への処理委託 量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託 量	t	t
		（これまでに実施した取組） 再生利用業者への処理委託		

（第５面）

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	がれき類	
		全処理委託 量	1500　t	t
		優良認定処理業者への処理委託 量	t	t
		再生利用業者への処理委託 量	1500　t	t
		認定熱回収業者への処理委託 量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託 量	t	t

		（今後実施する予定の取組） 現状維持
※事務処理欄		

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が 1,000 トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

2　当該年度の６月 30 日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)① 欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)② 欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④ 欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の 11 第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 15 条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和６年６月２０日

岡 崎 市 長　殿

提出者
住　所　安城市住吉町１丁目２番４号
氏　名　玉井建設株式会社
代表取締役　玉井秀一
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　0566-97-8601

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	玉井建設株式会社　【㈱マキタ　岡崎工場F棟北解体工事】
事業場の所在地	岡崎市合歓木町字渡嶋22-1
計画期間	令和６年４月から令和７年３月

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	０６：総合工事業
②事業の規模	元請完成工事高：838，099，600円（税別）
③従業員数	５人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	（建築物解体） コンクリートガラ→再生処理業者に委託し、破砕後再生砕石として再資源化及び場内において再利用 混合物→最終業者に委託し、選別後、再資源化、埋立（安定型・管理型処分場） 木くず、廃プラ類、廃石膏ボード→破砕後再資源化 金属くず→分別後、再資源化 その他→分別の徹底

（日本産業規格　A列４番）

（第２面）

<table>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項</td></tr>
<tr><td colspan="4">（管理体制図）
別紙①の通り</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の排出の抑制に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①　現状</td><td colspan="3">【前年度（令和５年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙②の通り</td><td></td></tr>
<tr><td>排　　出　　量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
コンクリートガラを現場内にて破砕し、埋め戻し材として使用し、
現場外への排出を抑制する。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙②の通り</td><td></td></tr>
<tr><td>排　　出　　量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
上記のさらなる徹底を図る。</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の分別に関する事項</td></tr>
<tr><td>①現状</td><td colspan="3">（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
がれき類、廃プラスチック類、木くず、廃石膏ボード、ガラス・陶磁器くず、金属くずを分別し処理する。</td></tr>
<tr><td>②計画</td><td colspan="3">（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
上記分別のさらなる徹底を図る。</td></tr>
</table>

（第３面）

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5"></td><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（　　年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="6"></td><td rowspan="5">①現状</td><td colspan="3">【前年度（　　年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（　　年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行った
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行う
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">①　現状</td><td colspan="3">【前年度（令和５年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙③の通り</td><td></td></tr>
<tr><td>全処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への
処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への
処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
コンクリートガラを現場内にて破砕し、埋め戻し材として使用し、
現場外への排出を抑制する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="9"></td><td rowspan="9">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>別紙④の通り</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
混合廃棄物の減少、分別の徹底を行う。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

⑴①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

⑵②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

⑶④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

別紙

① 第2面

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

管理体制図

社長
↕報告・連絡・指示
常務取締役　処理方針検討・計画
↕報告・連絡・相談・指示
廃棄物担当者　処理方針検討・計画・マニフェスト管理
↕報告・連絡・相談
各工事担当者　処理方針検討・計画・マニフェスト管理

② 第2面

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラスくず、陶磁器くず、コンクリートくず	廃石膏ボード	その他がれき類	コンクリート破片	アスファルト破片	混合廃棄物（安定型）	混合廃棄物（管理型）	ガラスくず、陶磁器くず、コンクリートくず（石綿含有）	廃プラスチック類（石綿含有）	その他がれき類（石綿含有）	蛍光灯（すぎん使用製品）	燃えやすい廃油	PH12．5以上の廃アルカリ	廃石綿
	排出量（t）	0	1.035	0	80.5	0.75	119.35	0	4.859	31.5	26.1	22.2	11776	198	3.12	3.536	2	0.7	7.4	15.62	0.17	0	0
②計画	廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラスくず、陶磁器くず、コンクリートくず	廃石膏ボード	その他がれき類	コンクリート破片	アスファルト破片	混合廃棄物（安定型）	混合廃棄物（管理型）	ガラスくず、陶磁器くず、コンクリートくず（石綿含有）	廃プラスチック類（石綿含有）	その他がれき類（石綿含有）	蛍光灯（すぎん使用製品）	燃えやすい廃油	PH12．6以上の廃アルカリ	廃石綿
	排出量（t）	100	1	0	10	0.5	10	0	6	1	2	1	50	10	10	10	5	0	0	0	0	0	0

③ 第4面

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラスくず、陶磁器くず、コンクリートくず	廃石膏ボード	その他がれき類	コンクリート破片	アスファルト破片	混合廃棄物（安定型）	混合廃棄物（管理型）	ガラスくず、陶磁器くず、コンクリートくず（石綿含有）	廃プラスチック類（石綿含有）	その他がれき類（石綿含有）	蛍光灯（すぎん使用製品）	燃えやすい廃油	PH12．5以上の廃アルカリ	廃石綿
	全処理委託量	0	1.035	0	80.5	0.75	119.35	0	4.859	31.5	26.1	22.2	11776	198	3.12	3.536	2	0.7	7.4	15.62	0.17	0	0
	優良認定処理業者への処理委託量		0.81		2.1	0.45	32.45		4.859	0	16.8	1.48	3232	198	2.496	2.496	2	0.7	7.4	15.62	0.17		
	再生利用業者への処理委託量		0.225		39.2	0.3	119.35		4.859		26.1	7.4	11776	198	1.56	1.053	0	0	0	0.781	0		
	認定熱回収業者への処理委託量																						
	認定熱回収業者以外の 熱回収業者への処理委託量																						

④ 第5面

②計画	廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラスくず、陶磁器くず、コンクリートくず	廃石膏ボード	その他がれき類	コンクリート破片	アスファルト破片	混合廃棄物（安定型）	混合廃棄物（管理型）	ガラスくず、陶磁器くず、コンクリートくず（石綿含有）	廃プラスチック類（石綿含有）	その他がれき類（石綿含有）	蛍光灯（すぎん使用製品）	燃えやすい廃油	PH12．5以上の廃アルカリ	廃石綿
	全処理委託量	200	1	0	20	0.5	20	0	10	5	5	5	50	10	10	10	1	1	1	0	0.05	0	0
	優良認定処理業者への処理委託量	0	1	0	20	0.25	20	0	10	0	5	5	5	10	0	6	1	1	1	0	0.05	0	0
	再生利用業者への処理委託量	0	0.25	0	20	0.25	20	0	10	0	5	0	50	10	4	3	0	0	0	0	0	0	0
	認定熱回収業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	認定熱回収業者以外の 熱回収業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和　６年　６月２５日

岡 崎 市 長　殿

提出者
住　所　愛知県知多郡武豊町字西門74番地
氏　名　　岩 部 建 設 株 式 会 社
代表取締役　岩部　雅人
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　　０５６９－７２－１１５１

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	岩部建設株式会社
事業場の所在地	愛知県知多郡武豊町字西門７４番地
計画期間	令和６年４月１日から令和７年３月３１日

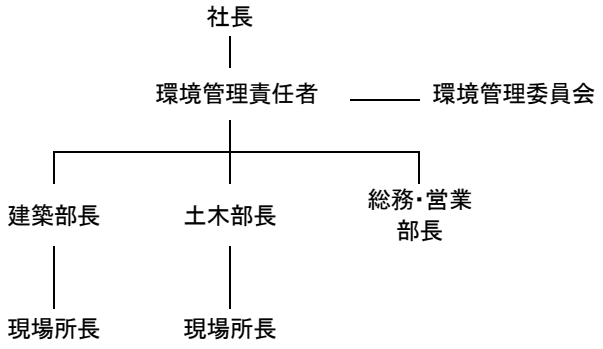
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	０６　総合工事業
②事業の規模	元請完成工事高：８００，０００万円
③従業員数	50名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	建設汚泥→中間処理業者に委託して脱水、再資源化、埋立処分 廃プラ→中間処理業者に委託し、分別して再生処理業者にて再資源化 紙くず→中間処理業者に委託し、分別して再生処理業者にて再資源化 木くず→中間処理業者に委託し、分別して再生処理業者にて再資源化 がれき→再生処理業者に委託し再生砕石として資源化 混合物→中間処理業者に委託し分別し再資源化、埋立処分

（日本工業規格　A列４番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状

【前年度（令和５年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラ	木くず	紙くず	がれき類	混合物	合計				
排出量（ｔ）	316.8	0.6	0.8	0	965.1	30.5	1313.8				

（これまでに実施した取組）
２０１１年１１月IS014001認証を取得し、廃棄物発生量の削減、分別による再資源化の効率化に努めた。
　混合物の排出量を分別により削減を図った。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラ	木くず	紙くず	がれき類	混合物	計			
排出量（ｔ）	200	10	10	5	50	50	325			

（今後実施する予定の取組）
可能な限り分別を行い、優良認定再生利用業者に処理委託する。
（混合物の排出量の低減する）

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・廃プラ　・紙くず・木くず　・石膏ボード ・石綿含有廃棄物を確実に処理している。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・現状維持 ・作業現場毎に分別状況を評価し、分別・減量に努める。

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">① 現状</td><td colspan="3">【前年度（　令和５年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>――――</td><td>――――</td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）

・実施していない。</td></tr>
<tr><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>――――</td><td>――――</td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）

・実施する予定はない。</td></tr>
<tr><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="6">① 現状</td><td colspan="3">【前年度（　令和５年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>――――</td><td>――――</td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）

・実施していない。</td></tr>
<tr><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td rowspan="6">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>――――</td><td>――――</td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）

・実施する予定はない。</td></tr>
<tr><td colspan="3"></td></tr>
</table>

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（　令和５年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	―――	―――
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
		（これまでに実施した取組） ・実施していない。	
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	―――	―――
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
		（今後実施する予定の取組） ・実施する予定はない。	

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状

【前年度（　令和５年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラ	木くず	紙くず	がれき類	混合物	合計			
全処理委託量（t）	316.8	06	0.8	0	965.1	30.5	1313.8			
優良認定処理業者への処理委託量	0	0.6	0.8	0	281.3	20.1	302.8			
再生利用業者への処理委託量	316.8	0.6	0.8	0	965.1	30.5	1313.8			
認定熱回収業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0			
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0			

（これまでに実施した取組）
・委託処理業者への定期的に立入確認をした。
・優良認定処理業者への処理を出来る限り実施した。

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="12">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>汚泥</td><td>廃プラ</td><td>木くず</td><td>紙くず</td><td>がれき</td><td>混合物</td><td>計</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全処理委託量</td><td>200</td><td>10</td><td>10</td><td>5</td><td>50</td><td>50</td><td>325</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>0</td><td>5</td><td>5</td><td>5</td><td>20</td><td>50</td><td>175</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>200</td><td>10</td><td>10</td><td>5</td><td>50</td><td>50</td><td>325</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td colspan="10">（今後実施する予定の取組）
作業現場にて混合物の分別をさらに推進すると共に優良認定処理業者への委託を指導する。</td></tr>
<tr><td>※事務処理欄</td><td></td><td colspan="11"></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

⑴①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

⑵②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

⑶④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和　６年　６月２０日

岡　崎　市　長　殿

提出者

住 所　愛知県名古屋市港区入船 2-4-6

氏 名　大成ロテック株式会社　中部支社

支社長　若　林　　和　仁

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　０５２－６６１－６９５１

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名 称	大成ロテック株式会社　中部支社
事業場の所在 地	愛知県名古屋市港区入船 2-4-6　　（岡崎市内　各現場・高速道路）
計画期　間	令和６年０４月０１日～令和７年０３月３１日

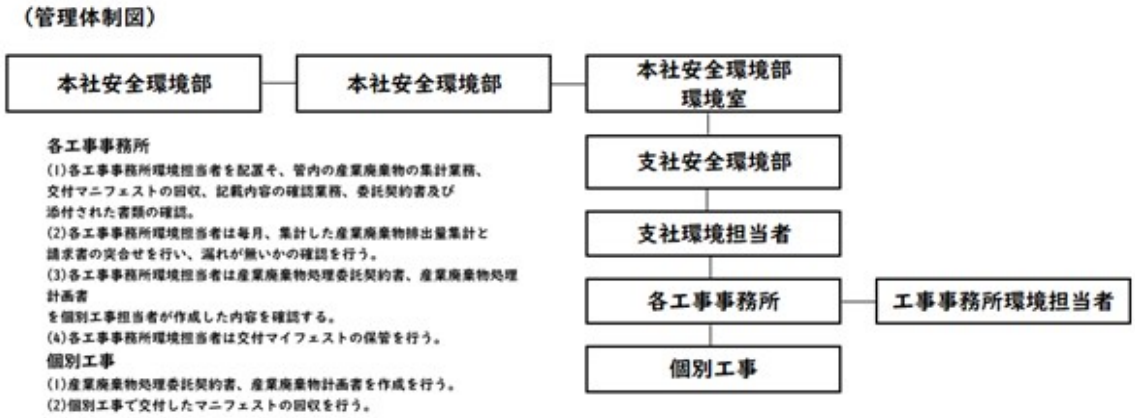
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

1　事業の種 類	Ｄ６　建設業／総合工事業
2　事業の規 模	元請完成工事高： 36,106,000 千円（全社）、6,682,000 千円（中部支社）
③従業員 数	1,209 名（全社）、136 名（中部支社）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	・がれき類→中間処理業者に委託し、再資源化

（日本産業規格　A列４番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

1　現状	【前年度（　令和　５年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	
	排出　量	4,081.69　t	t
	（これまでに実施した取組） ・余剰材の引取り及び他現場での再利用		
2　計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	
	排出　量	1,000.00　t	t
	（今後実施する予定の取組） ・舗装工事における路上路盤再生工法の採用 ・測量精度向上によるロスの低減		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・各品目毎の分別徹底 ・現場作業員への分別指導、教育の実施

	②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・各品目毎の分別を徹底し、分別表示板の取付け ・引き続き現場作業員への指導、教育の実施 0

（第３面）

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項				
	1　現状	【前年度（令和　５年度）実績】		
		産業廃棄物の種類		
		自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
		（これまでに実施した取組） 該当なし		
	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類		
		自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
		（今後実施する予定の取組） 該当なし		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項				
	①現状	【前年度（　　年度）実績】		
		産業廃棄物の種類		
		自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
		自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
		（これまでに実施した取組） 該当なし		
	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類		
		自ら熱回収を行う	t	t

		産業廃棄物の量		
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
		（今後実施する予定の取組） 該当なし		

（第４面）

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項				
	①現状	【前年度（　年度）実績】		
		産業廃棄物の種類		
		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
		（これまでに実施した取組） 該当なし		
	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類		
		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
		（今後実施する予定の取組） 該当なし		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
	1　現状	【前年度（令和　５年度）実績】		
		産業廃棄物の種類	がれき類	
		全処理委託量	4,081.69 t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	0 t	t

			再生利用業者への処理委託量	4,081.69 t	t
			認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
			認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t
		（これまでに実施した取組） ・電子マニフェスト　100％実施 ・委託先処理業者へ定期的現地確認の実施 ・電子契約システムの導入			

（第５面）

	2　計画	【目標】			
		産業廃棄物の種類		がれき類	
		全処理委託量		1,000.00 t	t
			優良認定処理業者への処理委託量	0 t	t
			再生利用業者への処理委託量	1,000.00 t	t
			認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
			認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t
		（今後実施する予定の取組） ・委託先処理業者への定期的現地確認の継続			
※事務処理欄					

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が 1,000 トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

2　当該年度の６月 30 日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)① 欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)② 欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④ 欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の 11 第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 15 条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和　６年　６月２８日

（宛先）岡　崎　市　長

提出者
住　所　蒲郡市鹿島町宮ノ要４４－１
氏　名　株式会社 黒海
代表取締役 アクチャイ ファーティヒ
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　0533-95-4445

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社　黒海
事業場の所在地	岡崎市美合町石塚２５－１
計画期間	令和　６年度（令和　６年　４月～令和　７年　３月）

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	０６：総合工事業
②事業の規模	元請完成工事高：１，０００万円
③従業員数	１５人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	（建築物解体） 廃プラスチック類⇒再生処理業者に委託。破砕後再生材等として再資源化。 木くず⇒再生処理業者に委託。破砕後チップ等として再資源化。 繊維くず⇒再生処理業者に委託。破砕後再生材等として再資源化。 ガラス・陶磁器くず⇒再生処理業者に委託。破砕後再生材等として再資源化。 がれき類⇒再生処理業者に委託し、破砕後、再生材として再資源化 混合物（安定型含む）⇒委託先が、安定型埋立処分。

（日本工業規格　A列４番）

（第２面）

<table>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項</td></tr>
<tr><td colspan="4">（管理体制図）
代表取締役（廃棄物処理統括責任者）
↓
取締役　工事現場責任者　（廃棄物処理責任者）
↓
現場担当者及び運転手　（マニフェスト確認・チェック）
↓
事務担当者　（マニフェスト管理・取り纏め・処理計画書等作成）</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の排出の抑制に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①　現状</td><td colspan="3">【前年度（令和　５年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>排　　出　　量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）

各廃棄物ごとに、分別を行っている。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>排　　出　　量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）

引続き、廃棄物の分別を徹底していく。</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の分別に関する事項</td></tr>
<tr><td>①現状</td><td colspan="3">（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

各廃棄物ごとの、分別を確実に行う。</td></tr>
<tr><td>②計画</td><td colspan="3">（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

混合廃棄物の分別を徹底して行う。</td></tr>
</table>

（第３面）

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">① 現状</td><td colspan="3">【前年度（令和　　年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="6">① 現状</td><td colspan="3">【前年度（令和　　年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td rowspan="6">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="3"></td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">① 現状</td><td colspan="3">【前年度（平令和　　年度）実績】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行った
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行う
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="8">① 現状</td><td colspan="3">【前年度（令和　５年度）実績】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>別紙のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全処理委託量</td><td>1,583.0 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への
処理委託量</td><td>22.0 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処理委託量</td><td>1,583.0 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への
処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
・法令に従い、業者と書面により委託契約書の締結を行う。
・可能な限り再生処理業者への委託を行い、最終処分の量の低減を図る。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>別紙のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>1,150.0　t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への
処 理 委 託 量</td><td>10.0　t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処 理 委 託 量</td><td>1,150.0　t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
・再生利用業者への処理を増やす。
・混合廃棄物の分別を徹底して行う。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="2"></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

⑴①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

⑵②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

⑶④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

株式会社　黒 海

別紙

（単位：ｔ）

産業廃棄物の種類	令和５年度 実績数量	優良認定処理業者への処理委託量	再生利用業者への処理委託量	認定熱回収業者業者への処理委託量	認定熱回収業者業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
全処理委託料	1,583.0	22.0	1,583.0	0.0	0.0
廃プラスチック類	50.0	0.0	50.0		
木くず	201.0	0.0	201.0		
繊維くず	7.0	0.0	7.0		
ガラス・陶磁器くず	112.0	0.0	112.0		
その他がれき類	1,210.0	22.0	1,210.0		
混合（安定型含む）	3.0	0.0	3.0		

産業廃棄物の種類	令和６年度 計画数量	優良認定処理業者への処理委託量	再生利用業者への処理委託量	認定熱回収業者業者への処理委託量	認定熱回収業者業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
全処理委託料	1,150.0	10.0	1,150.0	0.0	0.0
廃プラスチック類	30.0	0.0	30.0		
木くず	180.0	0.0	180.0		
繊維くず	5.0	0.0	5.0		
ガラス・陶磁器くず	85.0	0.0	85.0		
その他がれき類	850.0	10.0	850.0		
混合（安定型含む）	0.0	0.0	0.0		

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和6年6月24日

岡崎市長 殿

提出者

住 所　名古屋市東区葵3丁目19番7号

氏 名　矢作建設工業株式会社

代表取締役社長　髙柳　充広

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　052-935-2382

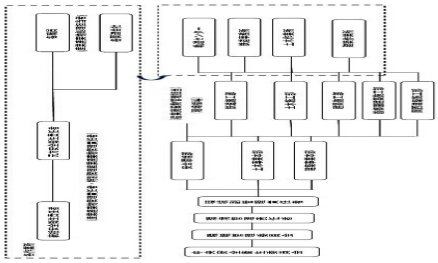
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	矢作建設工業株式会社
事業場の所在地	名古屋市東区葵三丁目19番7号
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	総合工事業
②事業の規模	元請完成工事高：７，９１３，２００万円
③従業員数	1104名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	建設工事 既設構築物解体：がれき類→再生処理業者に委託して再資源化 木くず→再生処理業者に委託してチップとして再資源化 混合物→中間処理業者に委託して選別・減量化の後、埋立処分 基礎工事：汚泥→中間処理業者に委託して脱水後、埋立処分 建築工事：がれき類→再生処理業者に委託して再資源化 廃プラスチック→中間処理業者に委託して燃料として再資源化 もしくは、焼却施設のある業者で焼却処分 混合物→中間処理業者に委託して選別・減量化の後、埋立処分

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	―
	排　　出　　量	t	t
	（これまでに実施した取組） 「発生抑制、再使用及び再生資源利用の推進」目標値：最終処分9%以下 ・メーカーに対して簡易梱包を依頼し梱包材の削減に努めている。 ・プレカットによる現場発生材の発生を抑制する。 ・ダンボールの徹底分別による排出量の削減に努めている。 ・ラス型枠を採用することにより型枠残材の削減する。 ・新規入場時教育時に産廃分別の教育指導を行っている。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	―
	排　　出　　量	t	t
	（今後実施する予定の取組） ・今後も引き続き現状の取り組みを継続する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・分別を徹底することにより混合廃棄物を削減する。 ・ダンボールの徹底分別による排出量の削減に努めている。 ・木くずは徹底分別し、再資源化施設を推進している。 ・石膏ボードは専用のパレットを設置して分別している。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・今後も引き続き現状の取り組みを継続する。

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った
産 業 廃 棄 物 の 量</td><td>－ t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
・実施していない</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う
産 業 廃 棄 物 の 量</td><td>－ t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
・実施する予定はない</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5"></td><td rowspan="5">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った
産 業 廃 棄 物 の 量</td><td>－ t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した
産 業 廃 棄 物 の 量</td><td>－ t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
・実施していない</td></tr>
<tr><td rowspan="5"></td><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う
産業廃棄物の量</td><td>－ t</td><td>－ t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する
産 業 廃 棄 物 の 量</td><td>－ t</td><td>－ t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
・実施する予定はない</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td colspan="2">自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行った
産 業 廃 棄 物 の 量</td><td>－ t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
・実施していない</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td colspan="2">自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行う
産 業 廃 棄 物 の 量</td><td>－ t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
・実施する予定はない</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="7">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
・電子マニフェストの使用を基本として、委託業者への指導の強化
・産業廃棄物委託契約の電子化を推進
・安全環境部による定期的な委託業者の施設・処理状況の確認
・各方面からの情報収集により、不適業者を排除し全社に周知
・産業廃棄物の最終処分率の目標を設定し、最終処分率の低減に努めている。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
・今後も引き続き現状の取り組みを継続する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="2"></td></tr>
</table>

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。

2　当該年度の6月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理計画書 別紙集計表

現状：前年度（令和5年度）実績量
計画：今年度（令和6年度）計画量（目標）

単位：トン

産業廃棄物の種類	排出抑制		自ら再生利用を行った(行う)量		自ら行う中間処理				自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った(行う)量		処理の委託									
	排出量				自ら熱回収を行った(行う)量		自ら中間処理により減量した(する)量				全処理委託量		優良認定処理業者への処理委託量		再生利用業者への処理委託量		認定熱回収業者への処理委託量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画
汚泥	69.52	66.04	－	－	－	－	－	－	－	－	69.52	66.04	0.22	0.21	69.52	66.04	0.00	0.00	0.00	0.00
廃プラスチック類	188.41	178.99	－	－	－	－	－	－	－	－	188.41	178.99	30.80	29.26	188.41	178.99	0.00	0.00	0.00	0.00
木くず	1,648.20	1,565.79	－	－	－	－	－	－	－	－	1,648.20	1,565.79	696.15	661.34	1,648.20	1,565.79	0.00	0.00	0.00	0.00
繊維くず	75.62	71.84	－	－	－	－	－	－	－	－	75.62	71.84	75.62	71.84	75.62	71.84	0.00	0.00	0.00	0.00
ガラス陶磁器等くず	16.00	15.20	－	－	－	－	－	－	－	－	16.00	15.20	6.00	5.70	16.00	15.20	0.00	0.00	0.00	0.00
廃石膏ボード	24.00	22.80	－	－	－	－	－	－	－	－	24.00	22.80	0.00	0.00	24.00	22.80	0.00	0.00	0.00	0.00
コンクリート片	18,777.03	17,838.18	－	－	－	－	－	－	－	－	18,777.03	17,838.18	0.00	0.00	18,777.03	17,838.18	0.00	0.00	0.00	0.00
アス・コン片	320.57	304.54	－	－	－	－	－	－	－	－	320.57	304.54	0.00	0.00	320.57	304.54	0.00	0.00	0.00	0.00
その他がれき類	3,510.56	3,335.03	－	－	－	－	－	－	－	－	3,510.56	3,335.03	0.00	0.00	3,510.56	3,335.03	0.00	0.00	0.00	0.00
建設混合廃棄物（管理型）	95.30	90.54	－	－	－	－	－	－	－	－	95.30	90.54	0.00	0.00	95.30	90.54	0.00	0.00	0.00	0.00
石綿含有産業廃棄物	96.69	91.86	－	－	－	－	－	－	－	－	96.69	91.86	96.69	91.86	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
合計	24,821.90	23,580.81	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	24,821.90	23,580.81	905.48	860.21	24,725.21	23,488.95	0.00	0.00	0.00	0.00